
パセティックソーセージ

L i t a l y

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

パセティックソーセージ

【Nコード】

N1906B

【作者名】

L i t a l y

【あらすじ】

星に願いを込めた。でも次の夜に見上げたらどの星も分かんなくなつた。エキセントリックな願いを讃え、今日も星は輝く。

消去法って超便利。

右端から、いらなそうなやつを黒のボールペンで消していく。
こう、ぐりぐり塗りつぶして消していく。

残った奴をまた右端からざっと眺めて、いらなそうな奴をまたこう、
ぐりぐりと塗りつぶしていく。

最後には一つだけが残る。

消去法で導き出した明日を睨む少女はかつて僕に言った。

まあね、それなりよ。

それなりに幸せと言える人生って、結構幸せだと思う。
僕もまたそれなりに幸せな人間の一人だ。

いい時代を思い出して寂しくなる時はあるけれど、今だってそれなりのもんだ。

僕たちの心の中には天秤がある。
望まなくたってどっちかに傾く。

あんたはまだ本当の絶望を知らない。
あらゆる可能性を誰かが容易く踏みにじるさまをその目で見ぢゃいない。

枯れた花にも水は必要か？
多分必要なんだろう。
でも、つばみに水をやるよりも、その作業は事務的で、冷淡だ。

薄い膜があって、そのこっち側とあっち側はたまに反転したりする。
幸せと不幸の逆転現象。

奪えばいいんだよ。
憎いなら怒鳴ればいい。
泣いてせがめ。
駄目ならそこでやっど踊れ。

突き立て切れなかった牙も自分の分のうちだつて誰かが言った。

それも込みで多分僕だから、何かを噛み千切る為じゃない牙を僕は隠し持つ。

今日もアホみたいな世界は平和にまわる。

不思議な球体。

何かを表してる。

でもそれにきつと意味など無い。

世界は正しく今日もまわる。

誰かが笑つて、誰かが泣く。

希望みたいな光はきつと暗闇に耐えられなくなった自分が作り出した
たまがい物。

そうだハレーション。

けれど、僕は明日も歌う。

哀れみを請う肉の棒は今夜もいきり立つ。

星に願いを込めた。

でも次の夜に見上げたらどの星か分かんなくなった。

エキセントリックな願いを讃え、今日も星は輝く。

誰かの心無い優しさに腹が立つ。

無知は怖い。

自分の振る舞いが、誰をどれほど苦しめてるのかにさえ気づかない。

死んでしまえ死んでしまえ死んでしまえ。

お前の持つてるソレ、俺に寄越して死んでしまえ。

平和ならここにもあるよ。

電気をつけないで便器に座る。

きちんとズボンを下ろして、パンツも下ろして、便座に座る。

真っ暗で何も見えない。

超平和。

僕たちはいつだって自分の都合で恋をする。

自分の都合で射精して、自分の都合で相手を蔑む。

分かってる分かってる。

女を蔑むなっていうんだろう？

うるせえよ馬鹿。

テメエも蔑んでるんだろうが。

偽ってるだけ。

全部込みで愛せたらいいのにね。

糞みたいな部分、えげつない部分、支離滅裂な部分、蔑んでる自分、全部。

甘ったれたガキが今日もオナニーをする。

哀れみを請う肉の棒を握り締める。

幸せですか？

幸せですよ。

みんなで叫ぼう

アイ ライク パセティック ソーセージ！

FUCK

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1906b/>

パセティックソーセージ

2010年12月18日19時07分発行